

最後の夏

3年学年主任 白崎 繁男

先日、地区中体連の夏季大会が終わりました。暑い中、最後まで諦めず、粘り強く戦い抜く姿が印象的でした。みんな立派だったと思います。上位に入賞し、県大会に勝ち進んだみなさんは、次の県大会で北信越大会出場を目指して全力で戦ってきてください。残念ながら県大会に進めなかったみなさん、これまで本当によく頑張りましたね！お疲れ様でした！

勝負には必ず相手がいます。相手も勝利を目指して一生懸命練習を積んでいますので、そう簡単に勝つことはできませんし、勝負である以上、どうしても「勝ち負け」がついてしまいます。しかし、勝つことだけが価値あることではありません。優勝したチーム（個人）以外は全て負けて終わります。圧倒的 majority が「負け」を経験するということです。プロ野球のリーグ戦でも全勝するチームはありません。だから、学年激励会でも話しましたが、「負けっぴい」が大切である、と私は考えています。みなさんが考える「いい負けっぴい」とはどのような姿ですか。

- ・全力を尽くして負ける。
- ・最後まで諦めず戦って負ける。
- ・負けても下を向かず、顔を上げ堂々とする。
- ・負けても腐らず、仲間や勝ったチームを称える。
- ・支えてくださった方々に感謝を伝える。

このような負け方はステキな姿だと思います。あまりにステキな負けっぴいに見ている者が涙することもあります。

また、「負け」にも価値があります。勝負の世界ではよく、「**負けから学ぶことは多い**」と言われます。プロ野球界で選手として、また監督としても活躍された故野村克也氏は「**勝ちに不思議の勝ちあり。負けに不思議の負けなし**」と述べています。試合や勝負に勝つ場合、運や偶然の要素が左右して、原因がはっきりしない場合があるが、負けは必ず何かしらの原因がある、という意味です。なぜ負けたのかを考え、原因を明らかにし、その対策をすることで、次に同じミスをしなくなったり、勝利に繋がったりするのです。また、勝ったことに慢心せず、次に向けて精進することも大切です。

レギュラーやスタメンであろうがなかろうが、これまで同じ目標に向かって仲間や先生、指導者と共に汗を流した経験はかけがえのないものです。今回の大会で「勝ち負け」はつきましたが、そこから学び、次に向けて成長していきましょう。そして、今後やってくるであろう、みなさんにとっての「**人生での大勝負**」で見事に勝利をつかみとることを期待しています！

7月の学習

心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。
習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。

これからの学習へ向けて、この言葉を意識してくれるとうれしいです。さて、毎日の学習はどうでしょうか。結果が出ることで、自分の頑張りに自信をもつことができます。朝学習、教科の課題などの取り組みを再度見直してみてください。無駄な時間を減らし、有意義な時間の使い方をしましょう。学年には毎日継続して、2時間以上学習している人もいます。その友達に追いつくためには、やるしかないですね。

- 第3回確認テスト 7/17(木)、18(金)
- 第4回確認テスト 8/21(木)、22(金)
- 1学期期末テスト 8/26(火)、27(水)

修学旅行を振り返って

1組	・企業見学に行くときに時間に余裕をもって行動できたし、挨拶もしっかりはきはきと元気にできて当たり前のことを徹底してできました。 ・特に思い出に残っているのはディズニーです。アトラクション、ご飯、待ち時間でさえ、すべてが夢で笑顔が絶えない時間でした。この修学旅行は私の一生の思い出です。また、学年全体で行動するときは、列がとても長く横断したい人のために一度立ち止まり、優先させるなど、小さなことを常に意識できていたと思います。今回  の修学旅行を通してマナーの大切さを改めて確認しました。
2組	・電車に乗っているとき、おばあさんが2人乗ってきて、「座りますか？」と聞いたら「大丈夫、ありがとう」と言ってくれました。その後もしばらく雑談をしました。あそこで話したから楽しかったし、良い気分にもなれました。しっかりと周りをみて行動できたのでよかったです。 ・朝、朝食会場に集まる時間が他の班よりも遅れてしまいました。他にもクラス別研修の時、余裕をもって行動できていなかったなと思いました。これから集団で行動する場面もあると思うし、普通の学校生活でも2分前着席とか余裕をもった行動をしたいなと思いました。
3組	・親がいないところで電車に乗るのは初めてですごく心配だったけれど、班長と協力してどの電車に乗り、目的地をしっかりと確認して、あまり迷わずに終えることができました。企業訪問では、緊張して自分から積極的に話すことができませんでした。でもこれから先は緊張を言い訳にはできないと思っているので、たくさんコミュニケーションをとって話すことに慣れたいと思います。 ・移動中、階段を上るときや道を渡るときなど、気がついたら道に広がらないように周りに言ったり、自分も端の方に寄ったりして邪魔にならないようにしました。東京で人混みの中、周りを見ることは本当に大切なことだと改めて感じました。 

4 組

- ・私が特に協力が必要だと感じたのは、二日目の班別学習です。班別は、自分たちだけで計画を立てて、移動もしながら考えて行動して、大変でした。電車に乗り遅れそうになったり、道に迷いそうだったり、予定より遅れてしまったりしそうになりましたが、その都度みんなで話し合い、解決しながら行動できてとてもよかったです。
- ・周りの人に先に通ってもらったり、あたりそうだったら声をかけたりしました。これらの気遣いは、社会に出てからも大切なマナーだし、集団で生きていくのに必要な力だと思うので、今後もしっかりマナーなどを守って、足羽第一中学校の最高学年として頑張って生活したいです。

7月の生活について

急に暑くなり、湿度の高い日が増えてきました。過ごしにくい季節になってきましたが、全てが「中学校最後の〇〇」となる行事の数々を一生懸命に取り組む生徒が多く見られます。しかし、その一方で最高学年としての生活に慣れ、少々気が緩んできている人もいます。学習の勝負をすべき夏休みに入る前に、自分の身の回りのことや、生活全般について一度振り返ってみましょう。



今月の生活目標

【熱中症対策を行い、暑さに負けずどんどんチャレンジしよう】

① 熱中症対策を各自が行おう

積極的な水分補給が必要となりますので、多めの水分を用意して登校しましょう。スポーツドリンクでの水分補給も必要な季節となりました。ペットボトルにカバーをつけて持ってきてましょう。また、スポーツドリンクを水筒に入れる場合には、対応している水筒にしましょう。

② 今できることに全力でチャレンジしよう

中体連の地区大会が終わりました。惜しくも試合に敗れ、部活動を引退した生徒もいます。部活動の目標がなくなったからといってなんとなく過ごすのではなく、学習や学校行事、そこに繋がる日常に目的や目標をもって全力で毎日を過ごしましょう！

また、県大会などの大きな大会やコンクールが目前に迫っている生徒もいます。2年間続けてきた部活動の集大成です。かけがえのない仲間とのかけがえのない時間を全力で過ごし、最後の1秒までやりきってください！

③ 前向きに活気溢れる3学年の姿を見せよう

気温も湿度も高く、ジメジメとした暑さに負けそうになる気持ちも分かります。しかし、いくら「暑い」と嘆いても気温が下がるわけではありません。今あるこの状況を、自分達のマインドでよりよくしていきましょう。暑さに溶けそうになるのではなく、この熱を味方にし、何事にも「熱く」なってみませんか。暑い中でも熱く頑張る3年生の姿はきっと、1・2年生がしっかり目に焼き付けてくれます。そして、そんな3年生のために、学校祭では1・2年生も熱く盛り上がってくれるでしょう。

～6月の保護者の方々の声を紹介します～

- ・楽しみにしていた修学旅行も終わり、残り少なくなってきた学校行事。体調を崩してしまうことが多くなってきたのが気になりますが、中学校生活最後まで元気に過ごして欲しいです。
- ・修学旅行ありがとうございました。楽しかったと話をしてくれました。三年生なので、一つ一つの行事が最後になってしまうので、悔いを残さないように、全力で頑張してほしいです。
- ・リハーサル参観、ありがとうございます。素敵な合唱でした。ふと、立志式の動画と見比べてみたら、ハーモニーの重なりなど練習の成果が感じられる合唱でした。指揮者、伴奏者の阿吽の呼吸のお辞儀から始まり、みんなが一つになって歌い上げる。本番はリハーサルよりも素晴らしい合唱が出来たのではないかと思います。短い時間の参観でしたが、子ども達の成長が感じられる素敵な時間でした。



スクールカウンセラー来校日は、基本的に火曜日です。

今月の来校日 ■7月1日(火) ■7月8日(火) ■7月15日(火)

家庭通信欄♪

学年だよりの感想、学校への質問、要望事項などがありましたら、お書きください。

第3学年の学年便り、次号に掲載させていただきます。

